



## はじめに

---

このマニュアルを参照すると、Cisco Global Site Selector (GSS) を設定してネットワークに接続できます。GSS ネットワークに接続するプライマリ Global Site Selector Manager (GSSM)、スタンバイ GSSM、および GSS デバイスの設定および作成後、要求ルーティングおよびグローバル サーバ ロードバランシングの設定を開始できます。

デバイスの初期設定など、GSS ネットワーク管理作業によっては、各 GSS デバイスの CLI (コマンドライン インターフェイス) を使用して、個別に GSS を設定する必要があります。GSS ネットワークで GSS デバイスをアクティブにするなど、その他の作業では、プライマリ GSSM の GUI (グラフィカル ユーザー インターフェイス) を使用して、GSS ネットワーク内のすべての GSS デバイスをグローバルに設定する必要があります。

このマニュアルの各章では、GSS ネットワーク内の GSS デバイスを初期設定する手順について説明します。各 GSS デバイスの CLI で初期設定を行うか、またはプライマリ GSSM の GUI を使用して行うかは、そのつど指示があります。



(注)

グローバル サーバ ロードバランシングの設定およびモニタリングを実行するには、通常、プライマリ GSSM で CLI を使用するか、または GUI を使用するかを選択できます。プライマリ GSSM の CLI または GUI を使用して実行できる作業の場合、どの状況で CLI を使用するのか、または GUI を使用するのかは、個人または組織の選択の問題です。とはいえ、第 1 章「CLI および GUI による GSS ネットワークの管理」の表 1-2 で説明するように、グローバル サーバ ロードバランシング (GSLB) のあらゆる設定およびモニタリングがプライマリ GSSM の GUI または CLI から実行できるわけではありません。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- [対象読者](#)
- [このマニュアルの利用方法](#)
- [関連資料](#)
- [記号および表記法](#)
- [マニュアルの入手方法](#)
- [シスコ製品のセキュリティ](#)
- [Product Alert および Field Notice](#)
- [テクニカル サポート](#)
- [その他の資料および情報の入手方法](#)

## 対象読者

このマニュアルを利用するには、『*Global Site Selector Hardware Installation Guide*』に記載されている、Cisco Global Site Selector ハードウェアに関する知識が必要です。さらに、基本的な TCP/IP およびネットワーキングの概念、ルータ設定、DNS (ドメイン ネーム システム)、Berkeley Internet Name Domain (BIND) ソフトウェアまたは類似の DNS 製品、および組織固有のネットワーク構成を十分に理解している必要があります。

## このマニュアルの利用方法

このマニュアルは、次の章で構成されています。

章 / タイトル	説明
第 1 章「CLI および GUI による GSS ネットワークの管理」	各 GSS デバイスの CLI、プライマリ GSSM の CLI、およびプライマリ GSSM の GUI を使用して、グローバル サーバ ロードバランシングおよびモニタリング作業を設定または実行する状況について、簡単に説明します。
第 2 章「CLI セットアップスクリプトによる GSS の設定」	セットアップ スクリプトを使用して GSS デバイスを設定する方法について説明します。セットアップ スクリプトは、ログイン時に既存のスタートアップ コンフィギュレーション ファイルが GSS によって検出されなかった場合に、自動的に開始されます。
第 3 章「GSS CLI のアクセス方法」	専用端末を使用して GSS デバイ스에 直接接続することによって、または PC から Telnet または SSH (セキュア シェル) を使用し、リモート接続を確立することによって、GSS の CLI にアクセスする手順について説明します。
第 4 章「CLI から GSS を設定する方法」	GSS ネットワーク内の各 GSS デバイスを個別に設定する方法について説明します。
第 5 章「GUI から GSS デバイスをアクティブにする方法」	プライマリ GSSM の GUI からスタンバイ GSSM および GSS デバイスを起動する方法について説明します。
第 6 章「CLI から GSS デバイスをアクティブにする方法」	プライマリ GSSM の CLI から GSS デバイスを起動する方法について説明します。
第 7 章「グローバルサーバロードバランシングの概要」	GSS ネットワーク上で要求ルーティングおよびグローバルサーバロードバランシングを設定するために、プライマリ GSSM から実行する個々の手順の要約です。

## 関連資料

GSS のマニュアル セットには、このマニュアルのほかに次のマニュアルが含まれています。

マニュアル タイトル	説明
『 <i>Global Site Selector Hardware Installation Guide</i> 』	GSS デバイスを設置して動作可能にするための情報。設置場所の準備、装置ラックに GSS デバイスを設置する方法、GSS ハードウェアのメンテナンスおよびトラブルシューティング方法について説明しています。
『 <i>Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Global Site Selector</i> 』	GSS の適合認定および安全性に関する情報。
『 <i>Release Note for the Cisco Global Site Selector</i> 』	GSS ソフトウェアの運用に関する考慮事項、注意事項、および新しい CLI コマンドの情報。
『 <i>Cisco Global Site Selector Administration Guide</i> 』	GSSM および GSS デバイスを適切に設定、管理、保守する手順について、ログインセキュリティ、ソフトウェアアップグレード、GSSM データベース管理、およびロギングを含めて説明します。
『 <i>Cisco Global Site Selector GUI-Based Global Server Load-Balancing Configuration Guide</i> 』	送信元アドレス リスト、ドメイン リスト、応答、応答グループ、DNS スティック、ネットワーク プロキシミティ、DNS 規則など、グローバル サーバ ロードバランシングを実行するように、GUI からプライマリ GSSM を設定する手順について説明します。GSS デバイスおよび GSS が実行するグローバル サーバ ロードバランシングの概要も記されています。

マニュアル タイトル	説明
『Cisco Global Site Selector CLI-Based Global Server Load-Balancing Configuration Guide』	送信元アドレス リスト、ドメイン リスト、応答、応答グループ、DNS ステイッキ、ネットワーク プロキシミティ、DNS 規則など、グローバル サーバ ロードバランシングを実行するように、CLI からプライマリ GSSM を設定する手順について説明します。GSS デバイスおよび GSS が実行するグローバル サーバ ロードバランシングの概要も記されています。
『Cisco Global Site Selector Command Reference』	あらゆる GSS CLI コマンドをシンタックス、オプション、関連コマンドを含めて示した、アルファベット順のリストです。CLI の使用方法についても説明しています。

## 記号および表記法

このマニュアルでは、特定の情報を強調するために、次の記号および表記法を使用しています。

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

太字	コマンドおよびキーワードは <b>太字</b> で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する変数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずどれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
<b>太字の screen フォント</b>	ユーザが入力しなければならない情報は、 <b>太字の screen フォント</b> で示しています。
<i>イタリック体の screen フォント</i>	ユーザが値を指定する変数は、 <i>イタリック体の screen フォント</i> で示しています。
→	このポインタは、例の中の重要な行を強調しています。
^	^記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に ^D というキーの組み合わせが表示された場合は、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、かぎカッコ <> で囲んで示しています。

[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

(GUI グラフィカル ユーザ インターフェイス) の各要素では、次の表記法を使用しています。

太字のテキスト	キーストロークの入力または GUI 要素の実行をユーザに指示します。
Courier のテキスト	CLI プロンプトを含め、コマンドラインに表示されるテキストを表します。
太字の Courier テキスト	コマンドラインにユーザが入力するコマンドおよびテキストを表します。
イタリック体のテキスト	ディレクトリおよびファイル名はイタリック体で示しています。



### 注意

「**要注意**」の意味です。データ損失または機器の損傷を予防するための注意事項が記述されています。



### (注)

「**注釈**」です。重要な関連情報、考慮事項、および推奨事項が記述されています。

1. 番号付きリストは、リスト項目の順序が重要であることを意味します。
  - a. アルファベット順のリストは、第 2 リスト項目の順序が重要であることを意味します。
- 黒丸付きリストは、リスト トピックの順序が重要ではないことを意味します。
  - インデント リストは、リストのサブトピックの順序が重要ではないことを意味します。

## マニュアルの入手方法

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、Cisco.com で入手できます。ここでは、シスコが提供する製品マニュアルのリソースについて説明します。

### Cisco.com

シスコの最新のマニュアルは、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

### Product Documentation DVD

Product Documentation DVD は、ポータブルメディアに収容された、技術的な製品マニュアルのライブラリです。この DVD を使用すると、シスコのハードウェア製品のインストール、ソフトウェア製品のインストール、設定、およびコマンドに関するガイドにアクセスできます。DVD を使用することで、次の URL にあるシスコの Web サイトに収録されている、HTML 形式のマニュアルおよび一部の PDF ファイルにアクセスできます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

Product Documentation DVD は、定期的に作成されて公開されます。DVD は、単独または購読契約で入手できます。Cisco.com に登録されている場合、次の URL にある Cisco Marketplace の Product Documentation Store から Product Documentation DVD (Customer Order Number DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>



## マニュアルの発注方法

Cisco Marketplace にアクセスするには、Cisco.com にユーザ登録されている必要があります。登録されている場合、次の URL にある Product Documentation Store からシスコ製品のマニュアルを発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

ログイン ID またはパスワードを取得されていない場合は、次の URL で登録手続きをしてください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

## シスコ製品のセキュリティ

シスコでは、無償の Security Vulnerability Policy ポータルを次の URL で提供しています。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このサイトから、次の各内容に関する情報を入手できます。

- シスコ製品における脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を入手するために登録を行う。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、およびセキュリティ対策の最新リストが以下の URL で確認できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、およびセキュリティ対策の更新をリアルタイムで確認するには、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードに登録します。PSIRT RSS フィードの加入に関する詳細については、次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_psirt\\_rss\\_feed.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html)

## シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、安全な製品を提供することを目指しています。製品のリリース前に社内ですべての脆弱性を迅速に修正するように努めております。お客様がシスコ製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 — [security-alert@cisco.com](mailto:security-alert@cisco.com)  
緊急度の高い問題とは、システムが攻撃を受けている状態、または急を要する深刻なセキュリティの脆弱性を報告する必要がある状態を指します。それ以外の状態はすべて、緊急度の低い問題とみなされます。
- 緊急度の低い問題 — [psirt@cisco.com](mailto:psirt@cisco.com)

緊急度の高い問題の場合、次の電話番号で PSIRT に問い合わせることができます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



#### ヒント

お客様が第三者に知られたくない情報をシスコに送信する場合、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品 (GnuPG など) を使用して情報を暗号化することを推奨します。PSIRT は、PGP バージョン 2.x ~ 9.x で暗号化された情報を取り扱うことができます。

無効な暗号鍵または失効した暗号鍵は使用しないでください。PSIRT への連絡時には、次の URL にある Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションにリンクされている有効な公開鍵を使用してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このページのリンクに、現在使用されている PGP 鍵の ID があります。

PGP を所有または使用していない場合は、機密情報を送信する前に PSIRT に連絡し、他のデータ暗号化方法についてご確認ください。

## Product Alert および Field Notice

シスコ製品に関する変更やアップデートは、Cisco Product Alert および Cisco Field Notice で発表されます。Cisco Product Alert および Cisco Field Notice を受信するには、Cisco.com で Product Alert Tool を使用してください。このツールでプロフィールを作成し、情報の配信を希望する製品を選択できます。

Product Alert Tool にアクセスするには、Cisco.com にユーザ登録されている必要があります。登録ユーザは、次の URL からこのツールにアクセスできます。

<http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en>

Cisco.com にユーザ登録するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

## テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Support Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、シスコシステムズとサービス契約を結んでいる場合は、Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアによる電話サポートも提供されます。シスコシステムズとサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにお問い合わせください。

### Cisco Support Web サイト

Cisco Support Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。Cisco Support Web サイトは 24 時間ご利用いただけます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

Cisco Support Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

---

テクニカル サポートにオンラインまたは電話でお問い合わせいただく前に、**Cisco Product Identification Tool** を使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。このツールにアクセスするには、Cisco Support Web サイトの **Get Tools & Resources** リンク、**All Tools (A-Z)** タブをクリックし、アルファベット順の一覧から **Cisco Product Identification Tool** を選択します。CPI ツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、または特定の製品に対する **show** コマンド出力のコピー & ペーストによる 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

---



## ヒント

**Cisco.com での表示と検索**

ブラウザで Web ページが更新されていないと思われる場合は、Ctrl キーを押しながら **F5** キーを押して、Web ページを強制的に更新してください。

技術情報を検索する場合は、Cisco.com Web サイト全体ではなく、技術マニュアルに限定して検索してください。Cisco.com のホームページで Search ボックスを使用し、表示されたページの Search ボックスの横にある **Advanced Search** リンクをクリックし、さらに、**Technical Support & Documentation** オプション ボタンをクリックします。

## Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

## Service Request ツールの使用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます（ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合）。TAC Service Request ツールに状況を入力すると、推奨される解決方法が提示されます。これらの推奨リソースを使用しても問題が解決しない場合は、TAC の技術者が対応します。TAC Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください（運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合）。S1 および S2 の問題にはシスコの技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話でテクニカル サポートを受ける際は、次の番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋：+61 2 8446 7411

オーストラリア：1 800 805 227

EMEA：+32 2 704 55 55

USA：1 800 553 2447

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

## 問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) — 既存のネットワークがダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) — ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、またはシスコ製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) — ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) — シスコ製品の機能、インストラクション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

## その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Online Subscription Center は、シスコの各種 E メール ニュースレターなどの配信を申し込むことができる Web サイトです。プロフィールを作成し、配信を希望する内容を選択します。Cisco Online Subscription Center には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/offer/subscribe>

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は、手軽に使えるコンパクトなリファレンス ツールで、チャネル パートナーを通じて販売されている多くのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、製品番号、および簡単な技術仕様が記載されています。年に 2 回更新され、シスコの最新のチャネル製品が掲載されています。『Cisco Product Quick Reference Guide』の発注および詳細については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、およびロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコが提供するネットワーク製品およびカスタマー サポート サービスについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>



- Networking Professionals Connection は、ネットワークの専門家がネットワーク製品やネットワーク技術に関する質問、提案、情報をシスコの専門家および他のネットワーク専門家と共有するためのインタラクティブな Web サイトです。ディスカッションに参加するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- 『*What's New in Cisco Documentation*』は、シスコ製品の最新マニュアルリリースに関する情報を提供するオンライン資料です。毎月更新されるこの資料は、製品カテゴリ別にまとめられているため、目的の製品マニュアルを簡単に見つけることができます。最新の『*What's New in Cisco Documentation*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/abtnicd/136957.htm>

- シスコシステムズは最高水準のネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

